

株式会社 ファミリーマート 御中

ベトナム社会主義共和国  
ホーチミン市カンザオ区における防災・気候変動対応  
対応能力強化事業

第3四半期報告書(2015年11月～2016年1月)



2016年2月  
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



## 1. 事業概要

事業名	ホーチミン市カンザオ区における防災・気候変動対応能力強化事業
対象国・地域	ベトナム ホーチミン市 カンザオ区（小中学校5校）
事業期間	2015年5月1日～2016年4月30日
報告期間	2015年11月1日～2016年1月31日
予算	7,500,000円
受益者	直接裨益者：5歳～14歳の子ども3,340名 間接裨益者(予定)：地域住民5,000名
事業目的	最貧困層の少数民族の災害対応、気候変動対応能力を向上させる。

## 2. 活動進捗

### 活動1. 生徒と教師の防災意識向上による安全な学校づくり

#### 1-1 学校及びコミュニティへの防災ガイドブックやマニュアルの配布

第2四半期に実施済み。当期間での活動はありません。

#### 1-2 教員及び生徒への安全な学校モデルの普及

##### ■教員向け研修の実施

11月28日～29日にかけて教員及び行政官向けの安全な学校モデル研修<sup>1</sup>を実施しました。研修には27名（カンザオ区教育訓練局2名、教職員（校長、教員など25名））が参加しました。この研修はセーブ・ザ・チルドレン及び教育訓練局の共催で実施し、セーブ・ザ・チルドレンが開発した災害対応能力調査ツールを元に進められました。この災害対応能力調査は、昨年度事業でも使用したツールで、各学校が自然災害の時にどのようなリスクがあるかを明確にするために行われます。加えて、現時点での自然災害への対応能力を把握して課題を洗い出した上で、災害時に適切な対応を行い、防災・災害リスクを軽減していくため必要な体制と対応計画を具体的にまとめる防災活動計画の作成に繋げていくこともまた、目的としています。この調査ツールは、農業農村開発省が実施している「コミュニティベースの防災リスク調査ツール（‘Community-based Disaster Risk Assessment Tool’）」を土台した内容になっており、政府が進める基本的な防災リスク調査の手法と整合性のとれたものとなっています。同研修では、参加者は自然災害、防災、気候変動対応に関する基本的な知識と共に、以下の3点について学びました。

1. 防災を教授するための教材や手法の紹介と防災の教授法のデモンストレーション
2. 学校における防災活動計画について

<sup>1</sup> ①安全な学習施設、②学校の防災管理体制、③防災教育の3つの柱で構成されている。

### 3. 上記災害対応能力調査ツールを使用した調査について

1. に関しては、授業や課外活動の教材として、昨年度および今年度に作成した防災ガイドブック、気候変動対応/CCA（気候変動対応）ガイドブック、フリップチャート教材、啓発ポスターなどの活用方法を紹介しました。2. では、防災リスク調査後に行う活動計画策定を参加者が研修中に実践してみることで、活動計画策定の際の必要な手順、計画にもりこむ内容について理解を深めました。3. では、各学校の災害カレンダー、地域における災害の歴史、地域の災害リスクマップなど、調査で使用するツールとその使い方、そのツールを用いた調査の方法を、研修中に実際にツールを使用しながら学びました。

#### ■子ども向け研修の実施

学校に通う子どもたちが主体的に学校が進める安全な学校モデルづくりに参加できるよう、12月、同様の研修が各対象校の子供たちを対象に行われました。5つの学校から20名、計100名の子どもたちが参加し、安全な学校モデルについて学びました。上記教員向け研修に参加した教員が講師を務め、教員向け研修で得た知識を、子どもたちが理解できるように分かりやすい内容で伝えました。子どもたちの積極的な参加を促し、教員と子どもたちが双方向のコミュニケーションをとる形で進められるよう、ゲームを用いたり、子どもたち同士が意見を交換し、課題に関し考えを深められるようグループワークを取り入れるなどの工夫を施しました。今後は、今回、研修に参加した子どもが中心となって、各学校において防災子どもクラブの活動が進められ、研修に参加した子どもの学びや経験を他の子どもたちに共有していく予定です。

#### ■参加型災害リスク調査、安全な学校計画の作成

2016年1月に当事業の対象校である5校にて、防災活動計画の土台になる参加型の防災リスク調査が行われました。この調査には、1-2の研修に参加した子ども100名、各対象校の教員70名、50名の子どもの保護者、そして地域住民15名の代表が参加し、調査のツールである対象地域の災害カレンダーや災害リスクマップ、災害の歴史の見直しを行いました。見直しの議論の中で、これまでの災害時にどのような準備を行ってきたか、災害後に実施したことは何か、今までできていなかったことは何か、これから何をしなければならないのか、これから学校における防災をどのように改善していけるか、そのために必要な人の配置は何かということが争点になり、活発な意見交換が行われました。今後、学校側は、この調査における参加者の意見や情報も盛り込んだ防災活動計画の策定にとりかかり、次四半期に完成する予定です。

#### 1-3 防災子どもクラブの設置及びクラブを通じた防災への子ども参加の促進

対象校5校で合計15の防災子どもクラブが設立されました（1クラブあたり20人、1校に3

クラブ)。これらのクラブでは、月2回放課後に、メンバーの子ども達が集まり、歌やゲームを通じて防災および気候変動対応の知識について学ぶ活動を行っています。

これらのクラブでは、1-2 で研修を受けた先生の指導・見守りの下、研修を受けた子どもたちの主導で活動が企画され、実施されています。活動では、地域においてどのような災害があるか、これらの災害が起こった時にどういった行動をとるべきか、災害に備えどのような準備をしておくべきか、災害時に最も被害を受けやすいのはどのような人か、そうした人々に対して特にどのようなことに気をつけるべきかなどについて学び、議論が行われています。今後は、防災・気候変動対応の啓発ポスターコンテストや活動発表会を通して、地域や学校内の他の子どもたちへ防災の重要性や防災の基本的な知識を伝えていく活動も計画中です。

当事業では、「防災への子ども参加の促進」の一環として、防災及び気候変動対応を教員の教授カリキュラム及び課外カリキュラムの活動の中に組み込む働きかけを行っています。当事業開始後、5校の対象校の授業において、毎月少なくとも4回（1回2時間）、既存の教科（小学校では自然科学、中学校では生物や道徳の授業において、防災・気候変動対応について教えるようになりました。

#### **1-4 安全な学校のための環境整備の実施**

引き続き、対象校におけるプールのフェンス及び屋根の設置のための準備を進めています。ホーチミン市の人民委員会からの承認手続きが下り次第、資材調達、設置が可能になり、設置は3月を予定しています。

#### **1-5 子どもへの着衣水泳教室の実施及びプールの水質管理計画の作成**

2015年12月26日から27日にかけて、当事業の対象校5校の体育教員15名を対象に、水泳技術及び水の中で溺れずにいるための技術、およびその指導法に関する教員研修が行われました。研修の講師は、カンザオ区のスポーツ文化センターから招かれました。研修は、教育訓練省による水泳指導の内容に沿って行われ、参加した教員は、基本的な泳ぎの方法、水中で浮くための技術、人命救助の手法、子どもの水泳技能を向上させる方法など、水泳教室で必要になる技術とその指導法について学ぶことができました。

### **活動2. 少数民族及び貧困世帯における災害及び気候変動対応の耐久性の強化**

#### **2-1 行政との連携確立・強化のための定期会合**

第2四半期に実施済み。当期間での活動はありません。

#### **2-2 コミュニティにおける災害及び気候変動リスク調査の実施**

#### **2-3 少数民族及び貧困世帯に対する災害に強い生業研修の実施及び生業の実践**

上記2つの活動は、ホーチミン市の事業承認が下り次第、カンザオ区農業農村開発局と協働して

実施してまいります。なお、災害に強い生業の内容に関しては、「2.2 コミュニティにおける災害及び気候変動対応影響リスク調査」の実施後結果により最終決定いたしますが、本年度も、昨年度と同様にヤギなどの家畜支援を計画しています。昨年度の事業のフォローアップ調査によると、ヤギを配布した4世帯中、3世帯では、既に子ヤギが生まれる、または妊娠中であることが確認できております。ヤギの頭数を増やし、売ることによる現金収入の向上につなげていくため、これらの世帯の状況については、今後もモニタリングを行ってまいります。なお、当事業実施地域は昨年度の事業実施地域の近隣に位置していることから、今後、活動に参加した村人の経験を他の村人たちと共有するための交流の機会を設けることができる見込みです。

### 3. 現在の課題・変更点

#### ■ホーチミン市からの事業承認取り付けの遅延、遅延に伴う事業期間延長の検討

第1四半期、第2四半期報告書で報告した通り、引き続き、カンザオ区教育局訓練局、対象校関係者との定期会合を実施し、ホーチミン市人民委員会の最終的な事業承認に向けて話し合いを行っていますが、正式な許可がおりていません。市の人民委員会への許可申請は区の人民委員会が行うのが通常の手続きですが、当会としても、同区教育局と定期的に会合をもち、同局を通じて郡の人民委員会へ働きかけを行っているほか、ベトナム国内で活動する外国NGOを管轄する政府機関PACCOM（人民援助調整委員会）へ協力を要請しています。

事業実施許可が遅れていることに伴い、適切な時間をかけてきめ細やかに事業を実施していくため、数か月の事業期間延長を検討しています。具体的な実施計画が固まり次第、速やかに御社にご報告させていただきます。

#### ■スイミングプール

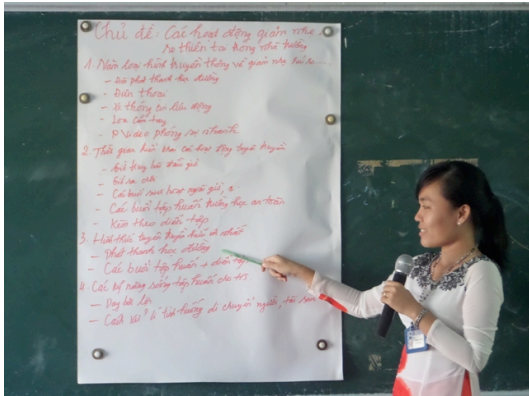
ホーチミン市からの事業承認取り付けが下りるまで、プール設置に必要なフェンス等の設置が開始できません。そのため、プールは使用できない状況にあり、購入したプール1基は、Long Than小学校に保管されています。同承認取り付けを待っている間は、資材の調達、水泳教室を指導する教員への教授法研修を行っており、同承認が下り、プール設置次第、水泳教室を開始する予定です。

### 4. 今後の活動予定（★はファミリーマート社員様の参加が可能な活動です。）

活動内容	2016年		
	2月	3月	4月
活動1. 生徒と教師の防災意識向上による安全な学校づくり			
1-1. 学校及びコミュニティへの防災ガイドブックやマニュアルの配布		✓	✓
1.2 教員及び生徒への安全な学校モデルの普及	✓	✓	✓

1.3 防災子どもクラブの設置及びクラブを通じた防災への子ども参加の促進	✓	✓ ★	✓
1.4 安全な学校のための環境整備の実施	✓	✓	✓
1.5 子どもへの着衣水泳教室の実施及びプールの水質管理計画の作成	✓	✓	✓ ★
1.6 子どもから保護者への災害リスク軽減のための知識及び技術の伝達		✓	✓
活動2. 少数民族及び貧困世帯における災害及び気候変動対応の耐久性の強化			
2.1 行政との連携確立・強化のための定期会合	✓	✓	✓
2.2 コミュニティにおける災害及び気候変動対応影響リスク調査の実施		✓	
2.3 少数民族及び貧困世帯に対する災害に強い生業研修の実施		✓	
2.4 少数民族及び貧困世帯に対する災害に強い生業の実施			✓

## 5. 活動写真



教員研修



子どもへの研修



授業の中で防災、気候変動について学ぶ子どもたち



防災子どもクラブでのグループワーク